11.4.5

▼吾等の權威を示すべき日は目睫の間に迫れり

▼四月七日午後七時より土佐堀青年會館に於て

▼同十四日午後七時より九條市民殿に於て

（入場無料）

勞働祭宣傳大演說會

辯士

賀川豊彦氏　村島歸之氏

古市春彦氏　志賀志那人氏

高山義三氏　渡邊茂夫氏

外各勞働團有志十數名

主催　關西勞働組合聯合會

▼勞働者諸君!!!須らく殺到し來りてメーデーを聽け

8

第五講　勞働組合と組合證票　賀川豊彦

組合證票の歴史（入）

中世紀のギルドの組合章とか関係

第一期煙草工　第二期労働騎士団　第三期一般組合の證票

米国は證票の出現地

組合證票の創始者　煙草工組合

第一期

△一八七五年桑港煙草工は支那人が證票の起原　初めはスタムプ

△一八七九年米国セントルイスの煙草工證票が採用　此組合は一八八九年迄赤色證票を使用

△一八八〇年煙草工全国組合之を採用す　煙草工は青色主義

第二期

△帽子工米国移民との苦闘

△一八八五年帽子工の證票採用

△一八八四年労働騎士団は證票を[illegible]有效とした　白色の證票採用せらる

△一八八九年靴工は手製を表す證票を[illegible]

△騎士団の一般組合は證票を使用す　煙草工、靴工、縫物工、紙函工、木工、煙草箱工、パン工、トランク工、手袋工、洋服工、革工、

全国組合と證票

印刷工　一八八五年

植字工　一八八六年

洋服工　一八八六年

10.3.15 N 邊

細工　ハン工　裁縫工　靴工　鋳型工　一八八六年　一八八六年　一八八六年　一八八七年

煙草工と労働騎士団との紛争

一八八六年煙草工組合はストライキして居た時騎士団が同情せずして證票を[illegible]

騎士団衰退の原因となる

第三期

[illegible]

[illegible]ことが出来ないので困る